



一般社団法人 横浜すぱいす

第8期 総会 次第

～対面を前提として、参加することに意義があるため ONLINE～

1 はじめに

定数の確認と委任状（第19条）

議事録署名人の指名（第20条）

2 挨拶 代表理事 北村 克久

リーフレット 500部印刷（わかば学園依頼）

コロナ禍の中、「数」を求めず、法人そのもの及び各事業推進の「質」を確認

3 議 事

第1号議案 2021年度事業報告及び決算報告、監査報告（第39条）

第2号議案 2021年度貸借対照表・正味財産増減計算書（第39条）

第3号議案 2022年度事業計画（案）及び活動予算（案）（第38条）

4 その他

メールアドレス等の確認

各事業部の活動会員の確認

5 終わりに

2022年5月9日（月）18:00～

於 社会福祉法人横浜市西区社会福祉協議会フクシア団体交流室

ミーティング ID:

パスコード:

2021年度 事業報告について

法人の名称 一般社団法人 横浜すばいす
2021年4月1日～2022年3月31日

1 事業概要

コロナ禍の中だからこそ「できる人が、できるときに、できることをして、笑顔を増やす」行動規範とハラスメント防止を意識

- (1) 学校教育・社会教育・生涯教育の充実を目的とした教育事業及び教育支援事業
 - ・教職員研修事業「実りの会」は学生を主体としているため中止。
 - ・瀬谷区放課後学習支援事業は、アドバイザー会議区役所連携が充実、プログラム開発進展
 - ・保土ヶ谷区放課後学習支援は、アドバイザー会議と区役所連携が充実
 - ・海外交流支援事業は、海外交流中止。
 - ・校庭園庭花壇支援事業は、瀬谷区全小学校配置、ハマミライ配布校にも配置
- (2) スポーツ・文化活動や体験活動を促進する教育事業及び教育支援事業
 - ・マリノス「ふれあいDAY」支援事業は中止
- (3) 教育活動に必要な教育資源の調査・統計・分析を通じた研究開発事業
 - ・瀬谷区と保土ヶ谷区の放課後学習支援事業をもとに、HPに掲載
- (4) 子どもの健全育成，保健，医療又は福祉の増進及び普及啓発を図る事業
 - ・「第7回弁当コンクール」最大応募数
 - ・YS こどもクッキングは中止。ONLINE プログラムは実施
 - ・ボランティア寄り添い支援型「子育てミーティング」ONLINE？
- (5) 安心して子育てができる環境の整備を目的とした保育等の施設運営事業
- (6) 学校及びその他機関と企業等パートナーシップの確立を図る事業
 - ・「はまみらいLABO」はONLINE 会議・オリパラ応援メッセージ！
 - ・プログラミング教育支援事業（Robo*C）は、地道に学校支援
 - ・人材バンク事業は、中止
 - ・ESD推進事業は、研修実施の第一歩とONLINEESDの可能性？
- (7) その他、前各号に掲げる事業に附帯又は、関連する事業

<基幹社員会費について>

- ①社員とは言え、何も活動せずに10,000円を頂いている社員
- ②活動会員とは言え、区役所等から謝金をもらっている活動会員
- ③花壇支援員や子どもアンバサダー等、活動会員が増えてきてその把握を明確にしておく必要があること
- ④子どもアンバサダーも会員（社員）だとすると、会費は取れないこと…

※ 労力を会費とする会員とお金を会費とする賛助会員で動いていく法人を目指す！

2 事業内容

(1) 学校教育・社会教育・生涯教育の充実を目的とした教育事業及び教育支援事業

① 「実りの会」教職員研修事業

本年度、コロナ関連等により以下の内容は実施せず。

- ・内 容 問題解決力（主に思考力・判断力・表現力）を培う授業の在り方について、実践提案による授業研究，実地研修を伴う教材研究，指導計画作成演習などを行う。
- ・場 所 青少年交流・活動支援スペース(桜木町)，地域巡検（横浜関内地区）
- ・従事者人数 0人
- ・参加対象者 学生，小学校教諭 延べ参加人数：0人

②-1 瀬谷区放課後学習支援事業

- ・内 容 学習相談を基本に教科書準拠算数ドリル学習，漢字ドリル等
- ・日 時 週一回を基本，放課後(14:30～16:30)
- ・場 所 横浜市立二つ橋小学校，横浜市立原小学校，横浜市立上瀬谷小学校，横浜市立大門小学校，横浜市立南瀬谷小学校，横浜市立瀬谷小学校，横浜市立相沢小学校，横浜市立瀬谷第二小学校，横浜市立三ツ境小学校，横浜市瀬谷さくら小学校，横浜市立阿久和小学校，キッズルーム，図書室等
- ・従事者人数 各1人
- ・参加対象者 キッズクラブ登録児童

②-2 保土ヶ谷区放課後学習支援事業

- ・内 容 **with** コロナで学習相談（宿題，思考力を伸ばすプリント等の支援）
- ・日 時 週一回，放課後
- ・場 所 横浜市立富士見台小学校，横浜市立新井小学校，横浜市立星川小学校，横浜市立上菅田笹の丘小学校，横浜市立帷子小学校，横浜市立坂本小学校，横浜市立藤塚小学校，横浜市立仏向小学校，横浜市立初音ヶ丘小学校，横浜市立上星川小学校，横浜市立権太坂小学校，横浜市立常盤台小学校，12校のキッズクラブ
- ・従事者人数 各1人
- ・参加対象者 キッズクラブ登録児童

③ 海外交流支援事業・防災教育支援事業

- ・内 容 ○夏季に深センの日中交流旅行を企画していたが，コロナ禍で停止状態
・11月よりリモートにより，瀬谷小学校で，「キッズ防災教室～キッズ防災レンジャーになろう！～」を開始。
・講師は防災士の鷺山理事。
・横浜市民防災センター，防災塾・だるまと連携し，それぞれの防災教材を活用。
・火災編，風水害編，地震編，津波編，在宅被災生活編を実施し，ワークシートとテストで「キッズ防災レンジャー認定証」「マニュアル付きクリヤーファイル」を授与する。
- ・日 時 キッズ防災教室 2021年度第3シーズン
11月17日(水) 津波から身を守れ！「稲むらの火」に学ぶ
津波てんでんこ 想定を信じるな

- 11月24日(水) 地震から身を守れ！通学路で身を守れ
家の中で避難訓練 家具固定が大切
 - 12月1日(水) 災害のあとのサバイバル生活
水・食料・トイレの技でサバイバル
 - 12月8日(水) 火災から身を守れ！
周囲に知らせる 煙から命を守る 消火器の使い方
 - 12月15日(水) 風水害から身を守れハザードマップで知る危険
マイ・タイムライン
 - 12月22日(水) ふりかえりとテスト キッズ防災レンジャー認定式
- 防災関係トピック「横浜市立太尾小防災まちづくり連携」が消防庁「防災まちづくり大賞」にて「総務大臣賞」受賞（2021年2月）→[「新横浜新聞」紹介記事](#)
- 同校学区は、9月に「内閣総理大臣防災功労者表彰」受賞

④ 校庭・園庭花壇支援事業

- ・内 容 ①校庭・園庭花壇支援のための研修会
②校庭・園庭花壇支援（学校等における植物栽培支援）活動
- ・日 時 ①2021年5月16日(日)／2021年8月21日(土)／（以下予定）2022年
1月16日(日)／2022年3月27日(日)
②栽培作業のタイミングに合わせて随時
- ・場 所 ①横浜港の見える丘公園と山下公園のバラ園／せやまる，Zoom会議併用
／（以下予定）せやまる，Zoom会議併用／二つ橋小学校他，はまみらい栽培校視察
②横浜市立二つ橋小学校他，バラ「はまみらい」栽培校を中心に多数
- ・従事者人数 ①各回約10人 ②22～30人（年度内に新規登録あり）
- ・参加対象者 ①②花壇支援員，学校等関係者
- ・備考 事業名を再変更，「花壇支援事業」とし，登録する従事者を「花壇支援員」とする。年度内に準備ができ次第，切り替える。

(2) スポーツ・文化活動や体験活動を促進する教育事業及び教育支援事業

① マリノス「ふれあいDAY」支援事業

本年度は中止になりました。

*コロナ禍等の事由が重なり開催できなくなりました。

(3) 教育活動に必要な教育資源の調査・統計・分析を通じた研究開発事業

① 瀬谷区放課後学習支援に向けた調査及び放課後学習支援コーディネート事業

- ・内 容 ○瀬谷区・保土ヶ谷区内の小学生の放課後学習支援事業のアンケート調査と分析を通して，放課後学習支援の方向性を探る。放課後支援の軌跡のホームページへの掲載
- 新規実施校などにおけるプログラムの提供及び人材の派遣，ボランティア募集における学校とのコーディネート等及び次年度に向けたプログラム開発
- 学習アドバイザーの特性を生かしたプログラム開発及び ONLINE プログラムの開発と次年度瀬谷区での実施準備
- 「横浜ユース」との青少年育成事業の連携実施

○放課後支援の研究発表および論文化(日本生涯教育学会発表と『日本生涯教育学会論集』第 42 巻収録)

- ・日時・場所 2021年2月～2022年3月 アンケート実施と瀬谷区報告書作成
放課後学習支援を実施している小学校ほか
- ・従事者人数 担当理事2人ほか学習アドバイザー
- ・参加対象者 放課後学習支援を実施している学校の子どもスタッフほか
学習アドバイザーほかの指導者

(4) 子どもの健全育成, 保健, 医療又は福祉の増進及び普及啓発を図る事業

①-1 [第7回 横浜の子どもが作る弁当コンクール] 食育事業①

- ・内 容 「食」に関する知識や技術とアイデアを生かした, 成長期にふさわしい弁当を考えコンクールに参加してもらうことで, 横浜市の食育の普及を行う。

【2021年度テーマ】

「大切な人に食べてもらいたい弁当を作ろう！」

～家族/友人/医療従事者/お世話になった人などに, 感謝やエールをこめた弁当を作ってみませんか～

【2021年度応募作品数】

小学校 88校 503作品 中学校 15校 1,169作品
特別支援 2校 13作品 (合計) 105校 1,685作品 (1651人)
(昨年度比) 応募学校数 175% 応募作品数 114%

【応募者への対応】

- ・入賞者 15名・入選者 28名には, 賞状及び賞品を授与及び配布
- ・一次選考通過者 56名は, 学校名・学年・氏名のみ紹介
- ・応募者全員の作品にスタッフ及び審査員からのコメントを記入し, 参加賞&報告書を添付して返却

- ・日 時 (7月初旬)応募用紙配布⇒(9月下旬)書類審査⇒(11月初旬)実技審査⇒(12～1月)参加賞及び報告書等配布
- ・場 所 一次審査: 2021年9月25日(土) さくらリビング
※一次審査に提出する応募作品のPDF(693MB)を事前に審査員に送った。事前に見ることができよかったと概ね好評だった。
二次審査: 2021年11月6日(土) さくらリビング
※二次審査及び表彰式の様子は, 出場児童生徒の保護者及び学校, 後援・賛助・協賛団体へONLINE配信の案内をし, 好評だった。
- ・従事者人数 14人(その都度協ラストッフ依頼: 退職及び現役栄養教諭・栄養職員)
- ・参加対象者 横浜市内の小・中・特別支援学校の児童生徒

①-2 [YS こどもクッキング] 食育事業②

本年度は中止

② ボランティア寄り添い支援型「子育てミーティング」児童の保護者グループ支援事業

- ・内 容 ・個別相談対応。
・第三回公開学習会(通級利用等個性的な発達や行動を示す児童・生徒の成人後を見据え, 現在の過ごし方をテーマとする)を午前に, 茶話会を午後を開催を計画中。年度内に開催予定。メンバーと相談中。

- ・継続した茶話会，ニーズに合わせた情報提供，父親支援に関してはグループメンバーの生活状況との兼ね合いにより休会中。
- ・LINE などにより，相談を受けている。必要に応じて，居住地域の相談機関に繋げるなどしている。個性的な発達や行動を示す児童・生徒の保護者支援も視野に，新しいグループの立ち上げを検討している。
- ・日 時 今年度は開けていない。LINE での個別対応のみ。
- ・場 所 ZOOM を利用したオンライン形式
- ・従事者人数 2 人
- ・参加対象者 10 人以上

(5) 安心して子育てができる環境の整備を目的とした保育等の施設運営事業

※ 該当する事業は本年度ありませんでした。

(6) 学校及びその他機関と企業等パートナーシップの確立を図る事業

① はまみらい子ども会議支援事業

- ・内 容 「はまみらいアンバサダー」の子どもたちと支援する大人の実行委員 50 名が月に一度程度の SDGs 達成に向けてのアクションを今年度は続けてきました。コロナ禍といわれる時代にウイズコロナを意識して，テレビ会議やリモートワークもふんだんに取り入れながらアンバサダーの子どもたちが自らの豊かな体験活動を「社会貢献」を意識しながら展開することが SDGs 実現に向けてのチャレンジとなっていくようでした。
- ・日 時 2021 年 4 月～2022 年 3 月（月に一度のテレビ会議で SDGs 実現に向けてのアクションを起こす。）
- ・場 所 ブルガリアンローズ文化協会 栄区田谷町の農家 市内小学校各校
- 2021 年 4 月 「バラの精霊」観劇についての打ち合わせ
はまみらい苗の配布（22 株）子ども植物園
- 2021 年 5 月 はまみらいバラちらし弁当の配付
豊かな体験活動 栄区の農家での竹林整備
「バラの精霊」感想交流会
- 2021 年 7 月 オリパラ応援動画作成
- 2021 年 9 月 オリパラ感謝メッセージ動画作成
振り込め詐欺撲滅の取組(泉区役所・泉郵便局)に協力
- 2021 年 10 月 豊かな体験活動「親子でマイクロプラスチック撲滅大作戦」参加
全国小学校キャリア教育研究協議会大館大会参加
- 2021 年 11 月 豊かな体験活動「ヨコハマ・インクル・ポッチャ・ラボ」キックオフに参加
- 2021 年 12 月 はまみらい子ども会議に向けて第 1 回ミーティング
横浜自然観察の森でのネイチャートレイルを実施
- 2022 年 1 月 はまみらい子ども会議に向けて第 2 回ミーティング
はまみらい子ども会議【1 月 15 日（土）】⇒3 月に延期
- 2022 年 2 月 はまみらい子ども会議の振り返りと次年度の計画会議
- 2022 年 3 月 はまみらい子ども会議【3 月 21 日（祝）】&はまみらいアンバサダー卒業おめでとうの会
- ・従事者人数 実行委員 35 人 アンバサダーの子ども 15 人

② プログラミング教育支援事業 (Robo*C)

- ・内 容 Robo*C「課題解決型 ロボットプログラミング教室」は多忙な学校に新しい指導の形を提供するシステム。その学校の実情に合わせて、適宜カスタマイズできるプログラムと講師・運営人材を用意して各学校へ伺う、子どもと先生方に分かりやすい出前教室を特徴としてきた。今年度はコロナウイルス感染も下火になり7月に活動を開始したところに4度目の緊急事態宣言発令により足踏み状態になった。9月30日の解除後は小学校への出前教室、横浜市経済局イノベーション都市推進部 新産業創造課の「ロボットワールド」に参加でき、新しい繋がりができた。コロナ下でできる出前授業を推進してきたが今年度もそれを踏襲し、コンピューターやタブレットの使用を必然としながら、リアルに児童、生徒への指導することを第一義に捉えている。今年も新しい学校からの実践と教員の研修を優先し、密を避けた指導、体験を提供している。
- ・日時・場所等 2021年7月15日(木) 横浜市立本牧南小学校6年生
2021年7月16日(金) 横浜市立本牧南小学校6年生
2021年8月31日(火) 横浜市立本牧南小学校5年生～中止
2021年9月2日(木) 横浜市立本牧南小学校5年生～中止
2021年10月4日(月) 横浜市立羽沢小学校6年生
2021年10月12日(火) 横浜市立羽沢小学校6年生
2021年10月29日(金) 横浜市立羽沢小学校6年生
2021年11月6日(土) 横浜市立横浜吉田中学校1年生職業体験教室
2021年11月8日(月) 横浜市立羽沢小学校5年生
2021年11月11日(木) ヨコハマロボットワールド パシフィコ横浜
2021年11月19日(金) 横浜市立駒岡小学校6年生
2021年12月1日(水) 横浜市立子安小学校6年生
2021年12月7日(火) 横浜市立子安小学校6年生
2021年12月8日(水) 横浜市立子安小学校6年生
2021年12月15日(水) 横浜市立子安小学校6年生
2021年12月21日(火) 横浜市立子安小学校6年生
2022年1月11日(火) 横浜市立子安小学校5年全体会
2022年1月13日(木) 横浜市立子安小学校個別支援級5年
2022年1月20日(木) 横浜市立子安小学校5年
2022年1月21日(金) 横浜市立子安小学校5年
2022年1月25日(火) 横浜市立子安小学校5年
2022年1月26日(水) 横浜市立子安小学校5年
2022年1月27日(木) 横浜市立子安小学校5年
2022年2月1日(火) 横浜市立子安小学校4年午前, 午後2クラス
2022年2月3日(木) 横浜市立子安小学校4年
2022年2月10日(木) 横浜市立子安小学校4年午前, 午後2クラス
2022年2月16日(水) 横浜市立子安小学校3年
2022年2月17日(木) 横浜市立子安小学校3年
2022年2月18日(金) 横浜市立子安小学校3年
2022年2月22日(火) 横浜市立子安小学校3年
2022年2月25日(金) 横浜市立子安小学校3年

2022年3月7日(月) 横浜市立飯島小学校5年(まん防延期の為中止)
2022年3月8日(火) 横浜市立飯島小学校5年(まん防延期の為中止)
2022年3月9日(水) 横浜市立飯島小学校5年(まん防延期の為中止)
2022年3月 羽沢小5年2回予定(まん防延期の為中止)

- ・従事者人数 1~4人
- ・参加対象者 のべ1,500人(横浜市立小中学校児童生徒, 教職員他)

③ 人材バンク「すばいすの集い」事業

- ・内 容 本法人「すばいす」に関わる社員及び活動会員が集い、支援活動の情報交換と交流を図る研修会の開催
横浜すばいすの各事業に中心的に携わる人たちの名簿を作成していく。
- ・日 時 2021年9月(新型コロナウイルス対策のため中止)
- ・場 所 宴会場(横浜市内ホテルを予定)
- ・従事者人数 1人
- ・参加対象者 0人

④ ESD 推進事業

- ・内 容 今年度のESD推進事業では当初、WWFと連携し作成したESD教材を活用した研修会を計画したが緊急事態宣言発令により、CD付き教材の配布・活用等も難しく、対面を想定した研修が困難となった。このような状況下、港南区「生活科・総合的な学習の時間」研究会より、夏期研修会の依頼があり、オンラインでの研修が実施可能となった。
<ESD研修会への希望内容>:「SDGsについて中学年・高学年の総合的な学習時間でどのような単元ができるのか、低学年ではどんな学びができるのか知りたい」
<研修会の実施>8月24日オンラインで1時間程度、日野南小学校校長室よりZoomによるオンラインで実施。事前に新たに編集したpdf資料を配布し、当日はパワーポイントで研修実施。質問、感想等はチャットに入れてもらうことにした。
<当日のチャットより> ★「本日はありがとうございました。ESDについてのお話大変勉強になりました。日々の指導に生かしていきたいと思います」
★「SDGsを意識してやらなければいけないなどこれまで思ってきた。しかし、多すぎる視点をどのように意識していくのか、何から始めればいいのかよくわからないものでもあった。今回の資料にはそのヒントが多くあったように思う。もう一度資料を読み直して校内の職員にも共有していけたらと思う」、他
- ・日時・場所等 <今年度の交流・研修会等>
ESD推進事業香港交流事業内容(2020.4月~2020.12月)
2021年3月15日(月)10:00~11:00 ESD事業部内打合せ
2021年7月20日(火)16:00~17:00 港南区生活科研担当者打合せ
2021年7月23日(金)14:00~15:00 港南区生活科研担当者打合せ
2021年7月23日(金)15:00~16:00 ESD事業部内打合せ
2021年7月26日(月)10:00~11:00 ESD事業部内打合せ
2021年8月23日(月)15:00~16:00 港南区生活科研担当者打合せ
2021年8月24日(火)13:00~14:00 研修会打合せ
2021年8月24日(火)15:30~16:30 港南区生活・総合 ESD研修会
2021年8月27日(金)10:00~11:00 ESD事業部内打合せ

2021年10月23日(土) 14:00～15:00 ESD 事業部内打合せ

2022年2月7日(月) 10:00～11:00 次年度 ESD 事業部内打合せ

※交流事業については、WWF ジャパンとのプロジェクトが終了した

ため、今年度の活動予定はなし。ただし、希望する学校から問い合わせがあった場合は、WWF ジャパンと相談の上、コーディネート並びに事務管理を行う。

・従事者人数 1～2人 ESD 担当

・参加対象者 30人 南区「生活科・総合的な学習の時間」研究会 ESD 講座 OnLine 参加

(7) その他、前各号に掲げる事業に附帯又は、関連する事業

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

一般社団法人 横浜すばいす

(単位:円)

科 目	2021年度予算額	2021年度決算額	増 減 額
I 収入の部			
1. 会費収入			
(1) 正会員会費	280,000	270,000	-10,000
(2) 賛助会員会費	850,000	800,000	-50,000
2. 事業収入			
(1) ①教職員研修事業	0	0	0
②放課後学習支援事業	660,000	660,000	0
③海外交流・防災教育支援事業	50,000	0	-50,000
④花壇支援事業	0	0	0
(2) 「ふれあいDAY」支援事業	50,000	0	-50,000
(3) 調査・統計事業	0	0	0
(4) ①ア 弁当コンクール	700,000	276,000	-424,000
イ YSこどもクッキング事業	0	0	0
②子育てミーティング	0	0	0
(5) 保育等施設運営事業	0	0	0
(6) ①「はまみらい子ども会議」支援事業	180,000	150,000	-30,000
②プログラミング教育支援事業	1,000,000	1,000,000	0
③人材バンク事業	0	0	0
④ESD推進事業	200,000	0	-200,000
3. 雑収入			
(1) 預金利息	15	14	-1
収入合計	3,970,015	3,156,014	-814,001
II 支出の部			
1. 事業費			
(1) ①教職員研修事業	30,000	0	-30,000
②放課後学習支援事業	250,000	249,801	-199
③海外交流・防災教育支援事業	50,000	3,520	-46,480
④花壇支援事業	100,000	0	-100,000
(2) 「ふれあいDAY」支援事業	50,000	14,130	-35,870
(3) 調査・統計(プログラム開発)事業	200,000	192,042	-7,958
(4) ①ア 弁当コンクール	700,000	755,370	55,370
イ YSこどもクッキング事業	0	0	0
②子育てミーティング	10,000	8,370	-1,630
(5) 保育等施設運営事業	0	0	0
(6) ①「はまみらい子ども会議」支援事業	180,000	180,000	0
②プログラミング教育支援事業	900,000	842,501	-57,499
③人材バンク事業	15,000	9,800	-5,200
④ESD推進事業	200,000	151,153	-48,847
事業費小計	2,685,000	2,406,687	-278,313
2. 本部費			
支払報酬(謝金)	40,000	0	-40,000
通信運搬費	60,000	42,776	-17,224
地代家賃	0	0	0
水道光熱費	0	0	0
保管料	10,000	10,000	0
資料作成費	10,000	45,000	35,000
事務用運営管理費	70,000	147,597	77,597
事務用品費	30,000	43,540	13,540
消耗品費	20,000	17,085	-2,915
支払手数料	10,000	1,250	-8,750
交通費	210,000	124,000	-86,000
会議費	20,000	9,755	-10,245
ボランティア保険代	10,000	0	-10,000
租税公課	0	0	0
雑費	0	19,268	19,268
本部費小計	490,000	460,269	-29,731
3. 管理費			
振込手数料	2,000	1,320	680
管理費小計	2,000	1,320	680
支出合計	3,177,000	2,868,276	-308,724
III 当期正味財産増減額	793,015	287,738	-505,277
IV 正味財産期首残高	2,516,932	2,516,932	
V 正味財産期末残高	3,309,947	2,804,670	-505,277

正味財産期末残高 2,804,670 円は次期に繰り越します。

第1号議案-3

監査報告書

一般社団法人 横浜すばいす

代表理事

北村 克久 様

2021年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の正味
財産増減計算書、財産目録及び貸貸対照表を監査した結果、適正に処
理、記載されていると認める。

以上

令和4年 4月 29日

監査役

勝島 英貴



貸借対照表

(財産目録)

2022年3月31日現在

一般社団法人 横浜すばいす

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金		
横浜銀行普通・管理部門	1,781,256	
横浜銀行普通・プログラミング教育事業	57,499	
横浜銀行普通・教職員研修事業	30,000	
横浜銀行普通・「ふれあいDAY」支援事業	35,870	
横浜銀行普通・人材バンク事業	5,200	
横浜銀行普通・子育てミーティング	1,630	
横浜銀行普通・本部事業	29,731	
横浜銀行普通・プログラム開発事業	7,958	
横浜銀行普通・海外交流・防災教育支援事業	46,480	
横浜銀行普通・花壇支援事業	100,000	
横浜銀行普通・放課後学習支援事業	199	
横浜銀行普通・ESD推進事業	48,847	
未収入金		660,000
流動資産合計		2,804,670
資産合計		2,804,670
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	0	
預り金 (源泉所得税)	0	
流動負債合計		0
負債合計		0
正味財産		2,804,670

2022年度 事業計画(案)及び予算(案)について

法人の名称 一般社団法人 横浜すばいす
2022年4月1日～2023年3月31日

1 事業活動の方針

「アフターコロナ」を横浜すばいすとして「質」を追究する

- ①各事業の復活か？新たな形のスタートか？明確にして事業を進めていく
- ②ZOOMの活用で「つながる」と体験・対面重視の取組みの明確化
- ③Googleclassroomの活用が進まず、予定の共有と事業同士の連携協力の手段を探る
- ④ホームページ・Facebook等の活用

<会員証（社員証）で一本化>

2022年度は、本法人の組織体制（基幹社員、賛助会員、活動会員）を明確にしておくため、お手伝いいただいているボランティア会員を活動会員として位置付けます。活動会員とするかしないかは、各事業担当理事が各個人と相談して決定することとします。

活動会員が明確にすると共にボランティア活動保険加入について、説明をお願いします。各事業部の実情に応じて、加入を勧めて下さい。本人の怪我、損害賠償責任、後遺障害についてカバーされています。一人350円の保険料は、各事業予算から捻出し、「氏名と年齢60代」の情報を名簿に添えて、5月中に事務局にメールにて集約し、加入します。

法人としての名簿の管理について確認します。

基幹社員は、入社時に新規登録し年度毎の申込は必要なく、退社時に退社届けを提出

賛助会員は、毎年、新規登録依頼をし、賛助会費を納入

活動会員は、ボランティア保険の名簿をもって会員名簿とする。

<「すばいすの集い」>

コロナ禍の中、延期になっている「すばいすの集い」だが、担当の嶋田理事には、今年度、何らかの「お知らせ」だけは、発行していただきたい。上記、基幹社員、賛助会員、活動会員に対して、今後の対面での集まりに向けての準備としたい。

<総会資料等における年号の表示は西暦を使う>

2022年度は、第8期となる。

予算執行における費目に「活動費」を加え、ZOOM等の話し合いも執行できるようにする。交通費と同じく1,000円とする。



2 事業内容

(1) 学校教育・社会教育・生涯教育の充実を目的とした教育事業及び教育支援事業

① 「実りの会」 ゆっくりとした人生のあゆみと学び事業

- ・内 容 ライフとワークのバランスをモットーに、教職を目指す学生と教職に就いた若い教員の支援及び、教職を目指す学生を対象とした学習支援ボランティア
- ・収入見込額 30,000 円
- ・支出見込額 10,000 円

②-1 瀬谷区放課後学習支援事業

- ・内 容 瀬谷区の放課後学習支援をキッズクラブのプログラムとして実施。今年度も子どもの主体性を重要視し、宿題や算数プリントを中心に取り組むことを明確にして申し込みをとる形で実施する。学習アドバイザーの特色を生かした取り組みも引き続き実施していきたい。算数学習を中心としながらも子どもたちの学びの関心を引き出していくために例えば図工、理科実験等の多様な学習経験を実施していきたい。また、朗読やかけ算九九の暗唱等のコミュニケーションを充実させた取り組みも可能な限り行っていきたい。防災教育や開発プログラムの導入についても検討・導入をしていきたい。さらに、ボランティアの導入を促進し個に応じた指導の充実を図りたい。
- ・日 時 基本的に5月以降実施 週1回程度
- ・場 所 横浜市立二つ橋小学校、横浜市立原小学校、横浜市立上瀬谷小学校、横浜市立大門小学校、横浜市立南瀬谷小学校、横浜市立瀬谷小学校、横浜市立相沢小学校、瀬谷第二小学校、横浜市立阿久和小学校、横浜市立瀬谷さくら小学校、横浜市立三ツ境小学校
図書室、家庭科室等
- ・従事者人数 各校1人
- ・受益対象者 $30 \text{人} \times 11 \text{小学校} \times 35 \text{回} = 11,550 \text{人}$
- ・収入見込額 660,000 円
- ・支出見込額 190,000 円

②-2 保土ヶ谷区放課後学習支援事業

- ・内 容 瀬谷区の放課後学習支援をキッズクラブのプログラム参考にして実施。昨年度、深山先生を中心として保土ヶ谷区アドバイザー会議が保土ヶ谷区役所で開催されている。今年度も、保土ヶ谷区らしく充実させていきたい。新規実施校はない。
- ・日 時 基本的に5月以降実施 週1回程度
- ・場 所 横浜市立富士見台小学校、横浜市立新井小学校、横浜市立星川小学校
横浜市立上菅田笹の丘小学校、横浜市立帷子小学校、横浜市立坂本小学校、横浜市立藤塚小学校、横浜市立仏向小学校、横浜市立初音ヶ丘小学校
横浜市立権太坂小学校、横浜市立上星川小学校、横浜市立常盤台小学校
キッズクラブ等
- ・従事者人数 各校1人
- ・受益対象者 $30 \text{人} \times 12 \text{小学校} \times 30 \text{回} = 10,800 \text{人}$
- ・収入見込額 76,000 円

・ 支出見込額 76,000 円(運営支援交通費)

③ 海外交流支援・防災教育支援事業

(海外交流支援事業企画は保存されているが、実施可能かは不明)

・ 内 容 ○「キッズ防災教室」

2020 年度にカリキュラムが確立。1 年生から対応可能。

希望するキッズクラブがあれば実施したい。

「食育」「ESD」等他の多様なリモートプログラムと合わせてキッズに提供する。

シーズン 1

1 家で火事がおきたら？

2 台風や洪水の予報が出たら？

3 家 にいるときに大地震にあったら？

シーズン 2

1 横浜で地震が起きるわけ

2 津波から命を守る

3 大地震のあと電気も水道もない生活

○中国上海の学校と日本の学校との交流支援

・横浜市立潮田中学校の日中交流事業に向けた交渉

・横浜市立港中学校の日中交流事業に向けた交渉

○中国教育事業のニーズに対応したコーディネート

・日中ナレッジセンター主催夏季親子体験宿泊行事支援（保留）

・ 日 時 年度内 随時対応

日中交流体験学習(予定 保留)

・ 場 所 横浜市立港中学校・横浜市立潮田中学校の校長及び担当者との面談

日中ナレッジセンターの教育旅行支援

東京～富士山麓方面

・ 従事者人数 理事 2 人ほか中国関係ボランティア 数人

・ 受益対象者 中国の交流希望校生徒，
横浜市立港中学校生徒，横浜市立潮田中学校生徒

日中ナレッジセンター，日中交流体験学習参加児童生徒保護者

・ 収入見込額 50,000 円(賛助会費依頼) (現状では先方の経営状態から期待できない。)

・ 支出見込額 50,000 円(運営支援交通費)

④ 花壇支援事業 (旧名称：校庭・園庭花壇支援事業)

・ 内 容 目的：学校花壇等における植物栽培支援

活動①花壇支援員の登録，派遣，学校等及び地域との連携

活動②花壇支援員の知識向上と相互連携のため，研修会を開催

・ 日 時 ①学校等の要請，必要性により随時立案計画し実施

花壇支援員も随時募集，受付

②2022 年 5 月，7 月，9 月，11 月，2023 年 1 月，3 月

・ 場 所 ①横浜市内の保育園，幼稚園，小中学校，特別支援学校

②せやまる・ふれあい館ほか (現地視察，オンライン併用)

・ 従事者人数 ①登録花壇支援員約 30 名 ②左記及び関係者を参加対象とする

- ・日 時 (7月初旬)応募用紙配布⇒(9月下旬)一次審査⇒(11月初旬)二次審査⇒(12～1月)参加賞&報告書等配布
- ・場 所 一次審査：2022年10月1日(土) さくらリビング
二次審査：2022年11月3日(木) さくらリビング
- ・従事者人数 14人(その都度協力スタッフ依頼：退職及び現役栄養教諭・栄養職員)
- ・受益対象者 横浜市内 小・中・特別支援学校の児童生徒
- ・収入見込額 800,000円
- ・支出見込額 800,000円

①-2 [給食レストラン(仮称)]食育事業・・・新規事業

- ・内 容 瀬谷地域の親子や家族が集い給食を食べてもらうことで、栄養バランスのよい食事のあり方について理解を深め、より豊かな食体験を推進する。
- ・日 時 夏季休業中2回実施 第1回：7月29日(金)&第2回8月13日(土)
- ・場 所 横浜市二ツ橋第二地域ケアプラザを予定
- ・従事者人数 5～6人(その都度協力スタッフ依頼)
- ・受益対象者 瀬谷区内の子ども・保護者・家族
- ・1食価格 子ども：250円 大人：300円程度を検討(食材費のみ)
(現在の給食費：中学年は269円/食 大人は323円/食)
- ・収入見込額 瀬谷区ふれあい助成金3万円+未定収入3万円
- ・支出見込額 6万円

①-3 【放課後キッズクラブ ONLINE プログラム 横浜すばいす食育の時間】・・・新規事業

- ・内 容 成長期の児童にとって毎日の生活習慣の積み重ね、特に食の大切さについて知ることは重要である。バランスのよい食事のとり方や朝食の意味・季節の食材について、動画やクイズ・ワークシートを通して楽しく学び、終了後は一般社団法人横浜すばいすの「食育基礎マスター」のクリアファイルを渡し、認定する。
- ・日 時 5月以降 週1回 ONLINE：30分 プログラム：前半3回+後半3回
- ・場 所 希望する瀬谷区放課後キッズクラブ
- ・従事者人数 横浜すばいす食育事業スタッフ4名
- ・受益対象者 瀬谷区内 小学校の児童 10名程度×6回×希望校数=?

② ボランティア寄り添い型「子育てミーティング」児童の保護者グループ支援事業

- ・内 容
 - ・個別相談対応。
 - ・第四回公開学習会(通級利用等個性的な発達や行動を示す児童・生徒の成人後を見据えた、現在の過ごし方をテーマとする)を午前に、茶話会を午後開催。
 - ・ニーズに合わせた情報提供、父親理解も含めた、継続した on-line 形式の茶話会(昼の部・夜の部)を開催する。
 - ・通級利用に限らず、個性的な発達や行動を示す児童・生徒の on-line による保護者支援を継続し、新しいグループの立ち上げを検討する。
- ・日 時 適宜
- ・場 所 Zoom や LINE 機能を利用した on-line 形式
- ・従事者人数 2人
- ・受益対象者 10人以上

- ・収入見込額 0円
- ・支出見込額 15,000円

(5) 安心して子育てができる環境の整備を目的とした保育等の施設運営事業
 ※ 該当する事業は予定されていません。

(6) 学校及びその他機関と企業等パートナーシップの確立を図る事業

① はまみらい子ども会議支援事業（旧名称:「豊かな体験を通じた学び」ネットワーク事業）

- ・内 容 「はまみらいアンバサダー」の子どもたちと支援する大人の実行委員 50 名が月に一度程度の SDGs 達成に向けてのアクションを今年度も続けていく。ウイズコロナを意識して、テレビ会議やリモートワークもふんだんに取り入れながらアンバサダーの子どもたちが自らの豊かな体験活動を「社会貢献」を意識しながら展開することが SDGs 実現に向けてのチャレンジとなっていくように配慮する。
- ・日 時 2022 年 4 月～2023 年 3 月（週に一度の Zoom でのリモート会議で SDGs 実現に向けてのアクションを起こす。）
- ・場 所 ブルガリアンローズ文化協会 等 市内 SDGs 推進拠点
 2022 年／4 月 ウクライナ緊急支援活動
 5 月 野島宿泊合宿 里山ガーデン 横浜ユースとの連携イベント
 6 月 田谷の農家 7 月 ブルガリアンローズ文化協会 ・
 8 月 大磯海岸 ・ 9 月 横浜自然観察の森 ・
 10 月 太陽住建おひさま広場 ・ 11 月 女性フォーラム 生活工房 ・
 12 月 田谷の農家
 2023 年／1 月 市内小・中学校 ・ 2 月 太陽住建おひさま広場
 3 月 ブルガリアンローズ文化協会 （※すべて案です。）
- ・従事者人数 実行委員 42 人 アンバサダーの子ども 35 人
- ・受益対象者 市民（主に小学生以上の子どもと保護者）
- ・収入見込額 180,000 円
- ・支出見込額 180,000 円

② プログラミング教育事業（Robo*C）

- ・内 容 Robo*C「課題解決型 ロボットプログラミング教室」は多忙な学校に新しい指導の形を提供するシステム。その学校の実情に合わせて、適宜カスタマイズできるプログラムと講師・運営人材を用意して各学校へ伺い、子どもと先生方に分かりやすい出前教室を実施する。
- ・日 時 羽沢小学校（日程未定）
 子安小学校（日程未定）
 11 月 5 日 横浜吉田中学校
 11 月 12 日 のぼらの会 横浜市青少年育成センター
 他（4 月現在予定）
- ・場 所 横浜市内小中学校等、他
- ・従事者人数 1～2 人
- ・受益対象者 横浜市立小中学校児童生徒、地域関係者等 1,500～3,000 人
- ・収入見込額 600,000 円
- ・支出見込額 600,000 円

③ 人材バンク「すばいすの集い」事業

- ・内 容 各事業が拡大しているなかで、本法人「すばいす」に関わる社員及び活動会員が集い、支援活動の情報交換と交流を図る研修会を開催する。
 - ・日 時 2022年12月(感染症の一定の収束を想定したうえで)
 - ・場 所 宴会場(横浜市内ホテル)
 - ・従事者人数 社員及び登録された方を中心とする全ての関わる方へ案内状を送付
 - ・受益対象者 活動会員
 - ・収入見込額 0円
 - ・支出見込額 15,000円(往復ハガキ印刷・通信費+会費)
- *2021年度は、本事業は新型コロナウイルス感染症への対策として中止とした。人材交流の拡大をねらい、各事業の従事者が一堂に集い交流できるような企画を計画し実施する予定である。

④ ESD推進事業

【放課後キッズクラブ ONLINE プログラム ESD ミニ講座】・・・新規事業

- ・内 容 ESD推進事業部がWWFジャパンと共同開発したOPLプログラムガイドIIを元に「SDGsって何？」をテーマに小学校低学年向けに短時間で楽しみながら参加できるようにアレンジを加えて、昨今よく耳にするSDGsや環境問題について触れる。「子どもたち自身の行動も環境問題とつながっている」ということを感じてもらうことを目指す。
(OPL: One Planet YOKOHAMA Lifestyle「横浜版 地球1個分の暮らし」)
- ・日 時 5月以降 ONLINE: 30分 プログラム: 全3回
- ・場 所 希望する瀬谷区放課後キッズクラブ
- ・従事者人数 横浜すばいす スタッフ1名
- ・受益対象者 瀬谷区内 小学校の児童 10名程度×3回×希望校数

【ESD推進講座の企画・実施】

- ・内 容 ESD及びSDGsに取り組む学校の授業研究支援や市教育研究会等の研修支援及びESDに取り組む教職員とヨコハマSDGsデザインセンターと連携を進める。
- ・日 時 年度内随時
- ・場 所 ESD講座等実施希望校等
- ・従事者人数 1~2名(理事1名, 管理事務等支援スタッフ1名)
- ・受益対象者 市内小・中・高校学校、児童生徒・教員等
- ・収入見込額 0円
- ・支出見込額 100,000円(講座実施の支援事務費)

(7) その他、前各号に掲げる事業に附帯又は、関連する事業